

教科別授業改善推進プラン（理科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

- ・ノート指導を統一することで、実験結果をもとに考察を書く力が高まってきた。
- ・友達と話したことをもとに、考えを広げることができてきた。

（２）課題

- ・「問題―予想―方法―結果―考察―まとめ」の一連の流れで学習することを継続して、見通しをもって学習することができるようにする。
- ・結果と考察を区別して書くことができるようになってきたが、板書の内容をノートに書き写すだけで、自分の考えを書くことが難しい児童もいる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

（１）達成率（観点別経年比較）

評価の記号は、平均正答率が目標値を「△…上回っている」「▼…下回っている」

	令和 7 年度結果	令和 6 年度結果	平成 5 年度結果
第 4 学年	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー△ 観点別 ・知識・技能▼ ・思考・表現・判断▼		
第 5 学年	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー▼ 観点別 ・知識・技能▼ ・思考・表現・判断▼	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー△ 観点別 ・知識・技能▼ ・思考・表現・判断▼ ・学びに向かう人間性▼	
第 6 学年	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー▼ 観点別 ・知識・技能▼ ・思考・表現・判断▼	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー▼ 観点別 ・知識・技能▼ ・思考・表現・判断▼ ・学びに向かう人間性▼	領域別 生命・地球▼ 物質・エネルギー▼ 観点別 ・知識・技能△ ・思考・表現・判断△ ・学びに向かう人間性▼

（２）分析

4 年	正答率が、目標値を下回っている項目が多い。 ●「物質・エネルギー」で正答率が目標値を下回っている。（▼） ○『音のせいしつ』は、目標値よりは低い、一番正答率が高かった。
-----	--

5 年	正答率が、目標値を下回っている項目が多い。 ○ 1 年間の植物の成長を問う問題では、目標値を上回った。 ● 「電気のはたらき」「動物のからだのつくりと運動」では、目標値より 10 ポイント程度下回った。
6 年	正答率は、目標値を下回っている項目が多い。 ○ 「人のたんじょう」「けんび鏡の使い方」では、目標値を上回った。 ● 「天気の変化」「植物の発芽と成長」「物のとけ方」では、目標値より 10 ポイント程度下回った。

3 重点課題

3 年	・生活経験や既習事項を結び付け、問題作りをしたり、予想したりすること。 ・観察や実験を通して「わかったこと・理由・自分の考え」の区別を意識して書くこと。 ・自分が気付いたことを言葉で伝えること。 ・友達の考えを聞いて考えを広げる経験を積むこと。
4 年	・実験や観察結果をもとに、「結果→理由→考察」とつなげて考える力を高めること。 ・ノートや話し合いを通して、自分の考えや根拠をもって説明する力をつけること。 ・観察や実験などで、結果の違いとその理由に着目する視点を育てること。
5 年	・知識の定着を図ること。 ・実験結果や目に見えない現象を図などで可視化すること。 ・実験結果を振り返り、自分の考えを文章化すること。
6 年	・知識の定着を確実にすること。 ・適切な実験方法を考え、文章で表現すること。 ・実験結果をもとに考察し、結論を導き出すこと。

4 授業改善策

3 年	・「磁石」「ゴムの力」など、生活に密着した単元が多いので、日常とつなげて話したり記録したりして、思考を広げやすくする。 ・「わかったこと・理由・自分の考え」の区別を意識させて、話す機会を増やす。 ・自分が気付いたことを言葉で伝えたり、友達の考えを聞いて考えたりする機会を設ける。
4 年	・実験時間を十分に確保するために、見通しをもって学習を進めさせる。 ・ノート指導を確実に実施し、実験後に個別に記録をする活動を取り入れ、「結果→理由→考察」を自分の言葉で書く場面を設定する。 ・理科の用語が身に付いているか確認するために、テストの前に復習テストなどを実施する。
5 年	・授業の導入でミニテストやフラッシュカードを行う。 ・単元の終わりに自分で学習をまとめる時間を設定する。 ・実験の予想や結果を文章とイラストや図で表現させる。 ・実験の結果や考察を個人で書かせ、読み合う時間を設定する。
6 年	・知識の定着を図るため、単元の終わりには動画等で確認したり、練習問題に取り組みせたりする。 ・実験の前に結果の予想を立てて、実験の意図を明らかにする。 ・実験結果をもとに考察を書く時間を設ける。考えたことを他者と共有し、正確な内容へと精度を高めていく。
全学年 共通	・一人一人が実験器具に触れる回数を増やす。 ・実験方法や実験結果が妥当であるか考える時間を設ける。 ・知識を問う問題をたくさん解き、慣れさせる。 ・実験から分かったことを書く時間を十分に確保する。 ・自分の考えを表現する力を高めるために、書いたことを交流する時間を設ける。